

西山山麓火口散策路の整備・保全活動



2000年の有珠山噴火では、西側の山麓にあった建物や道路が地殻変動や噴石の被害を受けました。

この被災状況を見学できる西山山麓散策路では、4/20のオープンを抑えた4/13に、建設協会によるボランティア整備が行われました。新ルート用の杭打ちや、傷んで穴が開いた木道の補修、ロープの張替えが行われました。



また、6/3にはジオパーク推進協議会ガイド住民委員会の呼びかけによる保全活動も行われました。約20名の参加をいただき、草刈作業のほか、傷んだネットや落ちているガラスの除去、植生回復エリア内の外来種防除が実施されました。

有珠山の噴火災害の様子を伝えるため、今後も整備・保全活動が進められる予定です。



日本で10番目のユネスコ世界ジオパークが誕生！

2023年5月24日、フランスで開催されたユネスコ執行委員会で、「はくさんてとりがわ白山手取川ジオパーク」(石川県白山市)がユネスコ世界ジオパークに認定されました。洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島、山陰海岸、室戸、隠岐、阿蘇、アポイ岳、伊豆半島に続き、日本で10地域目となります。

～ 白山手取川ジオパークの見どころ・評価ポイント ～

世界的な化石の産地

中生代白亜紀前期の化石の産地。研究も早くから進んでいる。

活火山の白山周辺

世界的に最も低緯度に位置する豪雪地帯であり、隆起速度が速い。

手取川における地形の変化は、日本の地形発達を象徴している。

自然と人との共生

生物圏保存地域のほか、白山国立公園にも指定される、豊かな動植物相がある。地質遺産の保護、教育の推進、ツーリズムの促進を行っている。

